

油面・湿潤面・油潤面でも直接施工できます

オイルコート

2成分形エポキシ樹脂

オイルコートは、乾燥面はもちろん、油の染み込んだコンクリート面、アスファルト面、アスファルトコンクリート面、エポタール面などの油面や、水で濡れている面、(湿潤面)、あるいは油面で、しかも水で濡れている面(油潤面)にも、プライマーの必要がなく直接施工することの出来る二成分型のエポキシ樹脂です。

道路、ダム、橋梁などの土木構造物の管理用補修材料として、油タンク防油堤の保護塗料として、各種工場の機械室、エレベーターピット、厨房、精肉市場、魚肉市場、食品工場などの補修材あるいは防水材として、ビル・マンションの雑排水槽、廃水処理施設の内部防水材としてなどの、幅広い用途があります。

油面に対する従来工法では、塗装面の完全な脱脂、油面プライマーの塗布、油の染み込んだ部分のハツリ等の面倒な下地処理が必要になりますが、オイルコート工法ではこのような工程が省略出来るので、工期の短縮と大幅な経費の節減が可能になります。

【 信頼の省力施工を実現するのは技術です！ 】

特 徴

- ★ 油面用のプライマーは不要です。
- ★ 防水性・耐候性に優れています。
- ★ 耐薬品性に優れています。
- ★ 耐衝撃性に優れています。
- ★ 下地処理が簡単ですから、工期が短縮できます。

荷 姿

容 量	硬化物色相	
3Kgセット	白色	
	(灰色)	
	(青色)	

※ 1. 標準色は白色です。灰色・青色に着色する場合は、トナー(11g袋)を3Kgセットに混入して着色します。

2. 1カートンは3Kgセット×4セットです。

3. 15Kgセットは受注生産です。最小ロットが10セット以上になります。

省力施工でも、「水」も漏らさぬ防水効果！

オイルコート

基本物性

種別	主 剤	硬化剤
規格	油潤面硬化型	
種類	変性エポキシ樹脂	
外観（基本色）	白色	白色
色相（基本色）	白色	
溶剤の有無	無	無
混合割合	2	1
比重	1.37	1.32
粘度（PS・25℃）	20	30
可使時間（25℃）	130分	
指触時間（25℃）	4時間	

硬化物性

引っ張り強さ（Kgf/cm ² ）	86	JISK-7113
圧縮強さ（Kgf/cm ² ）	99	JISK6119519
硬さ	ShoreA	99
	ShoreB	65
鉛筆引っかき試験	HB	JISK5400614
伸び %	14	
耐沸騰水	6HR	
	異常なし	
塩水噴霧試験	240HR	JISK-5400
	異常なし	
耐候試験	240HR	JISA1416
	異常なし	に準拠

付着力 単位（Kgf/cm²）

コンクリート	乾燥面	>30
	油 面	>30
	湿潤面	>30
	油潤面	>30
アスファルト	乾燥面	25（母材破壊）
	湿潤面	25（母材破壊）
アスファルト コンクリート	乾燥面	28
	湿潤面	27
鋼板	乾燥面	>30
	湿潤面	25

施工方法

下地処理

1. 施工面の付着物、汚れ、劣化部分を高压洗浄、サンダー等でケレンする。
2. クラックや破損部分はVカットして、予め増粘したオイルコート（注1）を充填する。
3. 背圧水は塗装の前に止水してください。
4. 施工面の凹凸は、予め不陸調整して下さい。

混 合

1. 混合率
主剤（A）：硬化剤（B）＝2：1
2. 混合時間：3分間以上
塗料攪拌用のミキサーが便利です。

塗 装

1. 塗装方法：ゴムベラでしごく様に塗装し、表面をゴムゴテや金ゴテで仕上げして下さい。
2. 塗装回数：追いかけて2回。
1回目の塗装が硬化しない内に2回目を塗装して下さい。
3. ノンスリップ仕上げにする場合は、塗膜が硬化しない内にM-6程度の珪砂を散布し、硬化後、余分な珪砂を除去してから、オイルコートで仕上げして下さい。

特記事項

1. 冬季の気温が低い場合は、オイルコートを常温に温めるか、硬化促進剤を添加して下さい。
添加量は3%以内です。
2. 粘度を低くする場合は、専用の希釈剤で希釈・混合して下さい。
添加量は3%以内です。
3. 充填用の粘土状のオイルコートの作成：
主剤と硬化剤を混合した材料を丈夫な透明の袋に入れ、珪砂を少量ずつ入れて手で揉んで作成して下さい。
4. 耐熱（35℃以上）が要求される場所では、プライマーとして使用し、別途、耐熱の対策が必要です。

取扱いの注意事項

- 未硬化の主剤・硬化剤が皮膚や目に付着しないように注意して下さい。
万が一、付着した場合は、よく水洗いし、直ちに医者の手当てを受けて下さい。
- 直射日光を避けて、冷暗所で保存して下さい。
- 取扱い後は、手洗いを充分にして下さい。
- 子供の手の届かない所で保管して下さい。

用途

側溝

雨水処理

厨房床

雑排水槽

M&C

モルケミカル株式会社

〒130-0022 東京都墨田区江東橋5-9-8-205

TEL 03(3634)3961 FAX 03(3634)3962

U. R. L: <http://www.mol-chemical.co.jp/>